資料１

第４期地域福祉活動計画（案）

Ｐ１	新飯田地区	Ｐ７	鷲巻地区
Ｐ２	茨曽根地区	Ｐ８	根岸地区
Ｐ３	庄瀬地区	Ｐ９	大通地区
Ｐ４	小林地区	Ｐ１０	白根地区
Ｐ５	臼井地区	Ｐ１１	味方地区
Ｐ６	大郷地区	Ｐ１２	月潟地区

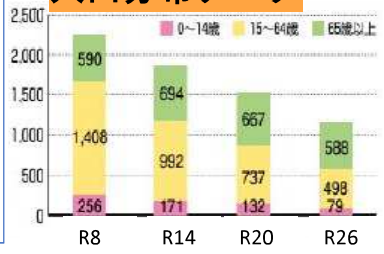
新飯田地区

地区特性・概要（基本情報）

新飯田地域は南区の最南端で、信濃川とその支流中之口川の分岐点に位置し、果樹栽培がとても盛んな地域です。
商店街には毎月五と十の付く日に六斎市が開かれ、様々なお店が並びます。
歴史と伝統ある「新飯田まつり」は6月に開催され、大名行列や神楽舞・舞い込みは見どころたっぷり。県内外からもたくさんの観光客が訪れます。



人口分布データ



前期計画期間の振り返り

◆支え合いのしくみづくり講演会をきっかけとして、居場所づくりへと発展し、巡回茶の間の開催や、定期的な地域の茶の間の立ち上げにつながりました。

◆全戸にラジオ体操のカードを配付し、健康に関する意識づけを行いました。また、地域の子どもたちが行うラジオ体操に大人も参加することで、顔の見える関係づくりにつながりました。

◆ボランティアサークルふぉう♡はぁとの活動では、子どもも大人も楽しめる企画をたくさん実施しています。SNSを活用して活動を周知するとともに、中学生ボランティアなど、若い世代への参加を呼びかけています。

現状と課題

この地区のいいところ

◆新飯田祭りや大名行列など、地域の伝統文化が大切に受け継がれています。また、大名行列に女性も参加できるようになるなど、これまでの伝統を大切にしながら、新たな形で地域文化をつないでいく取り組みも始まっています。

◆小学校との合同運動会や祭りなど、地域・学校・住民が連携した多世代交流が続いています。

◆あいさつや近所づきあいが活発で、お惣菜のおすそ分けや、五軒組制度、除雪、見守りなど、助け合いの風土が残っています。

この地区の課題

◆少子高齢化や担い手不足により、祭りや地域行事、地域の茶の間などの活動を続けていくことが心配されています。

◆防災時の要支援者への支援や個人情報の取り扱いについて、自治会長の交代が早く、継続的な取り組みやしくみづくりにつながりにくい状況です。

◆買い物や交通など、車がないと生活しづらい環境への不安があります。

課題を解決するための実施目標

笑顔いっぱい「おたがい様らて」と心が通いあう新飯田

目指す姿①

みんながつながり、地域の行事を大切にする地域

＜目標・取り組み＞

- 子どもから高齢者まで幅広い世代が交流できる地域を目指し、新飯田祭りや大名行列、運動会など、これまで地域で大切にしてきた行事を継続します。
- 親子で地域に関わるきっかけを増やすため、親子で参加できる地域の行事や活動を増やし、子育て世代が参加しやすいしくみを考えます。
- 学校統合後も子どもたちと地域とのつながりを大切にするため、日頃のあいさつや見守り、近所づきあいを通じて、いざという時にも声をかけ合い助け合える関係づくりを進めます。

目指す姿②

気軽に集まり、困ったときに支え合える地域

＜目標・取り組み＞

- 子どもから高齢者まで、男性・女性を問わず、誰もが気軽に集い交流できる地域を目指し、地域の茶の間など既存の居場所を継続・充実させます。
- 日頃から地域で支え合える関係をつくるため、声かけや見守りを大切にし、防災などのいざという時にも助け合えるしくみづくりを進めます。
- 地域の困りごとをみんなで支え合える地域を目指し、日頃からのつながりを大切にしながら、買い物や移動などの困りごとがある時に自然に支え合える関係づくりを進めます。



地区運動会の様子



ボランティアサークルふぉう♡はぁとのイベントの様子



新飯田まつりの様子

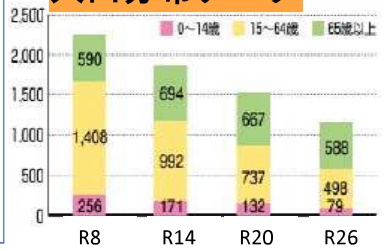
茨曽根地区

地区特性・概要（基本情報）

南区南西部に位置し、中之口川の河川がもたらした肥沃な土壌に恵まれ、一年を通して果実栽培が盛んな地域です。明治36年ごろ、小池氏がフランスから西洋ナシの苗木を取り寄せ、日本で初めて果実を実らせたルレクチェ発祥の地でもあります。
茨曽根には、昔からの助け合いのシステムがまだ残されており、人に優しい地域である特徴を生かして、若い世代が新たに家を建てて暮らしたいと思えるような魅力ある地域づくりが目標です。



人口分布データ



前期計画期間の振り返り

- 地域の活動や行事への参加をとおして、子どもたちの自己肯定感の高まりが身についてきました。
- 参加者の固定化や世話人の高齢化など課題があるものの、地域の茶の間を継続して開催しています。
- 支え合いのしくみづくりについて、地域の茶の間の開催や見守り活動など取り組めている活動もありましたが、今後も検討が必要です。

現状と課題

この地区のいいところ

- 自然豊かな環境で農業、果樹栽培が盛んです。
- 隣近所と顔の見える関係ができており、自治会ごとのつながりもあります。
- 学校行事や地域行事を開催する際には、積極的に参加、協力してくれる人が多くいます。
- 子どものつながりや趣味、仲間内の集まりなどがあり、同世代同士のつながりもできています。

この地区の課題

- 公共交通機関が少ないため、高齢になっても車が必要な地域です。
- 少子高齢化や人口流出により人口が減少しています。高齢者のみの世帯も増え、世帯数も減少しており、農業の後継者不足があり空き家や耕作放棄地などの心配があります。
- 地域の茶の間やグラウンド・ゴルフなど世代間交流の機会はありますが、高齢化による担い手不足が課題です。

課題を解決するための実施目標

笑顔であいさつ　茨曽根

目指す姿①　　住民がつながり、地域にかかわる

＜目標・取り組み＞

- 住民同士の顔の見える関係を大切にするため、昔ながらのつながりを生かし、多世代がつながることのできる交流の機会・事業を実施します。
- 若い世代の地域参加や子ども同士のつながりづくりのため、子どもを中心とした行事の開催を検討します。
- 次世代の担い手発掘・育成を目指し、地域の茶の間など現在開催している事業を継続するとともに、住民が主体となって活躍できる機会をつくります。

目指す姿②　　誰もがあんしん･あんぜんに暮らせる地域

＜目標・取り組み＞

- 災害時に備え、防災訓練や避難行動要支援者に対する個別支援計画作成の取り組みを継続します。
- 相談し、助け合うことで年を重ねても住み慣れた地域で継続して生活できるように、支え合いのしくみづくりをすすめます。
- 車での移動が欠かせない地域であるからこそ、交通安全を推進します。


ルレクチェ発祥の地


6年生の
地域のお茶の間訪問


餅つき大会

庄瀬地区

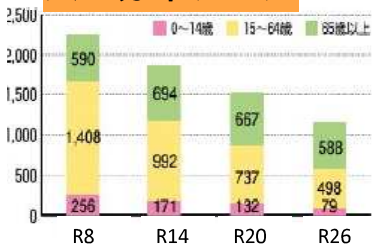
地区特性・概要（基本情報）

信濃川流域に位置し、豊かな自然に囲まれた閑静な地域です。住宅地の周辺には、のどかな田園風景が広がっており、稲作や果樹、園芸の栽培が盛んなところです。

1年を通して、「みんなで創る、みんなで楽しく」をモットーに四季折々の地域手作りのイベントが多く開催され、地域みんなで協力しあい明るく、楽しく活動しています。



人口分布データ



前期計画期間の振り返り

- 『春まつり』『農村公園まつり・花火大会』が多世代交流の機会として定着しており、例年多くの参加者で賑わっています。近年、若い世代が中心となって企画運営する新規事業も実施され次世代の担い手の発掘に繋がっています。
- 生活支援サービスの『なじらね庄瀬』の利用者も定着しつつあることから、引き続きボランティアの確保や育成に取り組みます。
- 防災訓練の内容のアップデートや自治会ごとの要支援者等の状況確認などで防災減災に取り組んでいます。
- ひきこもり世帯や障がい者のある方がいる世帯への支援の検討が求められています。

現状と課題

この地区のいいところ

- 隣近所と周りで協力し合える仲間関係や顔の見える関係づくりができています。
- 地域のイベントや防災訓練など多世代交流の場を設け、事業を継続しています。
- 役員だけでなくボランティアも自主的に行動しており、地域の茶の間や放課後児童クラブ、生活支援サービス、公園の整備・清掃など地域に根ざした活動を展開しています。

この地区の課題

- 単年で交替の自治会役員が多く、継続的な活動につながりにくい面があります。
- 少子化や部活動の地域クラブ展開などにより地域内で子供が活動する姿を見る機会が少なくなりました。
- 高齢者の一人暮らし世帯や空き家が増加しており、地域の見守りの必要性が高まっています。

課題を解決するための実施目標

声かけあい　話しあい　助けあい
たくさんのあい（愛）がある　庄瀬

目指す姿①　人と人とがつながり支え合う地域

＜目標・取り組み＞

- 四季折々のイベントなどを通じて幅広い世代の交流の場を作り、また地域活動の継続に向け、後継者となる人材の発掘・育成を図ります。
- 地域全体で協力し合うことで孤立感を解消し、支え合いの意識の向上と安心安全の推進を目指します。
- 地域の活動や対話を通じて変化する社会や環境に柔軟に対応する力をつけます。

目指す姿②　　地区の魅力を発信し、地域活性に繋げる

＜目標・取り組み＞

- 地域の活動を周知させることで、地域住民の理解と関わりを深めます。
- 地域の良さを共有することで地域に対する愛着を形成し、また広くPRすることで地域活性を図ります。


庄瀬農村公園まつり・花火大会


桜並木


防災訓練

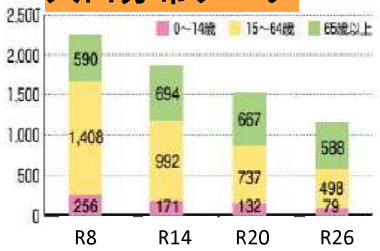
小林地区

地区特性・概要（基本情報）

南区のほぼ中央に位置し、平坦で閑静な田園風景の広がる地域です。南区の中心市街地や工業団地に隣接しているため、周囲にいくつもの住宅団地ができ、世帯数及び人口の増加とともに区内で最も早く住民構成が多様化された地域でもあります。一方、地域内の公共機関や医療機関が少なく、公共交通の利便性が極めて不便なため、日常生活の大きな障がいとなっています。



人口分布データ



前期計画期間の振り返り

◆お助け隊こばやしの活動では、利用者の変化に合わせた訪問や、関係者・地域包括支援センターとの情報の共有を行い、適切な支援につなげられました。
◆なじらね訪問や昼食会など、趣旨変更なく開催しています。参加人数の増減はあまりありませんが、未だ周知できていない点もあり、今後声掛けなどして周知・参加を図ります。また子どもを通じて、こころの安らぎの場ができないか検討していきます。
◆健康意識を高めるため、趣向を変えながら多世代が参加しています。

現状と課題

この地区のいいところ

◆農村部や団地部など住民構成が多様化された地域ですが、コミ協活動が盛んで、同じ目標のもと組織的に進められています。お助け隊こばやしの活動継続もできています。
◆子どもたちへの見守りや、障がい者への理解も深まっており、親世代と一緒に子世代の活動も見られます。また、子育て世代が新たなイベント企画を行う、小林新撰組による活動で、担い手の期待も持てます。
◆学校の参観日に防災訓練を行うなど、防災意識が高く、これまで大きな災害被害も少ない地域です。

この地区の課題

◆高齢者のひとり暮らしが多くなってきており、農村部でも顔を合わす機会の少ない地域もあります。また、団地部では近所付き合いが少なく、地域でのつながりが希薄になっています。
◆就労で忙しい世帯が多く、日々の生活の中で地域活動への新たな担い手としての、人材発掘・次世代への引き継ぎの課題があります。
◆医療機関が少なく、買い物に行くにも車が必要な地域で、交通手段の不便さが出てきています。AIデマンド交通の話もありますが、アプリ操作が伝授できるか心配な点があります。

課題を解決するための実施目標

声かけ合い 心をつなぐ 小林地区

目指す姿①　繋がりある地域で安心して暮らせる

〈目標・取り組み〉

●なじらね訪問や昼食会を続け、障がい者を抱える世帯との交流を行います。また、いざという時に支え合える関係にもつなげます。
●高齢になっても安心して暮らせるために、地域の茶の間やお助け隊こばやしの活動を継続し、専門職である地域包括支援センターと情報を共有し、地域で気づいた困りごとを必要な支援につなげます。
●AIデマンド交通のような、新しい取り組みに対応できるよう学びの場をつくります。

目指す姿②　担い手の確保と育成

〈目標・取り組み〉

●新たな担い手の人材確保ができるよう、地域イベントを開催し、多世代からの参加を募ります。
●活動の継続のため、早い周期で代わる自治会長へ繰り返し情報を伝えていくことで、地域活動への理解周知を図ります。
●お助け隊こばやしの活動や、小林新撰組の取り組みが周知共有できるよう情報発信をしていきます。



お助け隊こばやしによる移動支援



小林ふれあい昼食会の様子

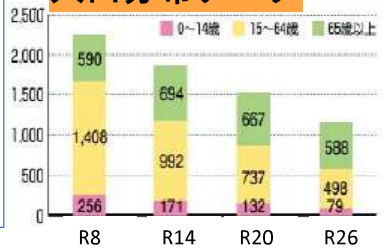
臼井地区

地区特性・概要（基本情報）

信濃川左岸の堤防沿いに位置し、豊かな自然に囲まれた閑静な地域で、主に水稲栽培を中心に花卉、蔬菜、果物、菌茸類の生産が盛んな地域です。
15の自治会で構成され、地域内にも臼井保育園・臼井小学校・臼井中学校があり、地域活動の拠点施設として活用しています。



人口分布データ



前期計画期間の振り返り

- 写真コンテストなど終了した事業もありますが、狸の婿入り行列や敬老会など継続して開催している事業もあります。
- 食推が開催している研修会は、健康のためだけでなく、人と会うための交流の機会になっており好評です。
- 一人暮らし高齢者が増加しており、先々の生活（家事・介護・お金等）に不安を感じているという声を聞いています。

現状と課題

この地区のいいところ

- 地域住民が講師となり、小・中学生が棒おどりや縄ないなどを学ぶ機会があり、伝承芸能の継承ができています。
- 地域によっては、外に出て気軽に住民同士で話ができる関係性があります。
- 狸の婿入りや敬老会等の事業の継続ができています。

この地区の課題

- 役員が1年交代のところが多く、協力はするが主となって事業を開催する人がいません。主となる人がいなくなると継続できません。
- 地域の茶の間が2か所ありますが、地域によっては参加が難しいです。
- 昔のような気軽に集まる機会が減少したため、住民同士の情報交換ができなくなっています。
- 地域の認知症や介護の理解が少ないです。

課題を解決するための実施目標

「やろってば！」笑顔で仲良く臼井地区

目指す姿①　交流を通じた、住民同士がつながる地区

＜目標・取り組み＞

- 狸の婿入り行列や敬老会など既存の事業を継続します。
- コミ協や地区社協、白根総合病院の班会などが中心となって住民が気軽に集まり、交流できる機会をつくります。
- 事業に参加してもらうことで、地域理解を促進し、次世代の担い手の育成につなげます。
- 多世代交流会や棒おどりなどの伝承芸能の継承を通じて、多世代が交流する機会を継続します。

目指す姿②　誰もが安心して暮らせる地区

＜目標・取り組み＞

- 地域包括支援センターなどと連携し、認知症や介護が必要な方、その家族が安心して暮らせるように意識啓発を行います。
- 地域の見守り活動を行う民生委員等を対象とした研修会等を検討します。
- 住民同士が交流できる機会を増やすことで、高齢者等の孤立の防止や不安の解消を図ります。



花いっぱい運動





狸の婿入り行列

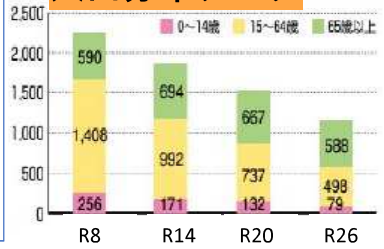
大郷地区

地区特性・概要（基本情報）

南区の北部に位置し、芋状に長い地域です。のどかな田園風景が広がり、特産の大郷梨、ル レクチエ、ハウス野菜の栽培がとても盛んな地域です。信濃川の堤防上に立つと、見事な梨畑が信濃川の広い河川敷に延々と連なっているのが見渡せ、花が咲くころには、梨の白い花が絨毯のようにきれいに広がっている光景を見ることができます。
大郷の地名の由来は、大聖寺の「大」に、村里「郷」が大きくしっかりと栄えるようにとの願いを込めたものと言われています。



人口分布データ



前期計画期間の振り返り

- 女性が地域に参加するようになったことで雰囲気が変わりました。様々な年代の人が地域に関われるようになるといいと思います。
- 地域の茶の間（月1回開催）では、以前は男性の参加者も多かったですが、今は少なくなっています。
- 役員が1年で交代する地区も多く、世代交代も進んでいます。役員の交代も地域に関わる人・機会が多くなると捉えています。令和8年度の大鷲夜まつりは大鷲小学校（屋内）で実施しました。屋内ということで話し合いながら協力して設営しました。

現状と課題

この地区のいいところ

- 農業や隣組など地域のつながりがあり、声かけや見守り、助け合いができています。
- 事業が盛んで、子どもたちを中心とした多世代交流会の機会も多く開催されています。
- 大郷地区に限らず、鷲巻地区・大通地区・根岸地区との共催イベントもあり、大勢の人から参加してもらっています。
- 子どもから大人まで挨拶が良く、顔のわかる関係があります。

この地区の課題

- 少子高齢化が進み、それによる課題（孤独死、空き家、農業・地域役員などの担い手不足、移動問題）があります。
- 人に迷惑をかけてはいけないという思いや理解されないのではないかという不安から、困りごとや悩みを家庭内で抱え込む高齢者が多いです。
- 交流を目的とした事業は開催されていますが、参加者が少なくなっています。

課題を解決するための実施目標

なじらね～？と声をかけあう大郷地区

目指す姿①　　人と人とがつながり、いきいきと暮らせる地区

＜目標・取り組み＞

- 地域の茶の間や大鷲シニアクラブなどを継続します。事業に参加してもらい、人と交流の機会をもち、孤立の防止や介護予防につなげます。
- 昔ながらの近所づきあいや地域のつながりを活かし、見守り活動や相談支援、助け合い活動を行います。
- 小・中学生や女性、若い世代など、様々な人たちと一緒に話をし、新しい意見を取り入れながら事業の検討、実施をします。

目指す姿②　　交流を通じて、誰もが参加･活躍できる地区

＜目標・取り組み＞

- 農業が盛んな地域特性を活かし、子どもたちを中心とした多世代交流の機会を継続します。地域行事へ子どもが参加することで、保護者である若い世代に地域活動へ参加してもらうきっかけをつくります。
- 性別を問わず、様々な世代の人が地域活動に参加し、活躍できるように、事業周知の工夫や検討を行います。
- 大郷地区に限らず、隣の地区や中学校区などからも事業に参加してもらい、世代や地区を超えたつながりをつくることで、地域活動への参加者、将来的な担い手の育成を目指します。



笹団子作り



敬老会

鷲巻地区

地区特性・概要（基本情報）

南区の北部に位置し、信濃川と中ノ口川に挟まれ、地形が長い地域です。

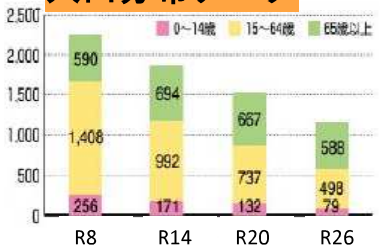
稲作や野菜、果樹の栽培がとても盛んな地域で、観光**果樹**園や桜の名所「桜遊園」があり、県内外から多くの観光客が訪れます。

また、日本初の公立教育ファーム「アグリパーク」も開設され、農業の担い手育成のために地域の農家同士が連携しあい、農業活性化に力を注いでいます。

少子高齢化が進んでいる現状で、地域コミュニティの理解と必要性が課題となっている。



人口分布データ



前期計画期間の振り返り

◆地域の子どもから高齢者までが参加できる居場所が立ち上がり、「コミュニティカフェわしまき」として地区全体へ活動が広がりました。

◆防災士を中心に、防災に関する学びの機会を設けたことで、地区全体に防災への関心や意識が広がりました。

◆認知症の勉強会など、福祉について学ぶ機会を設けたことで、身近な地域で支え合うことの大切さを考えるきっかけとなり、支え合いの意識につながりました。

現状と課題

この地区のいいところ

◆桜灯ろう祭りや大鷲夜まつり、どんど焼きなど、地域の行事が大切にされています。

◆昔からのつながりがあり、親族だけでなく近所同士で助け合う関係が残っています。また、子どもたちがあいさつをしてくれたり、地域のボランティア活動からも、地域のつながりを感じることができます。

◆若い世代が地域の役員を担うなど、次の世代につながる動きもあります。

◆農業を生きがいに何歳になっても頑張っている元気な高齢者が大勢います。

この地区の課題

◆地域を支える担い手が減り、役員や民生委員など一人ひとりの負担が大きくなっています。

◆団地などでは、新しく住み始めた人との交流が少なく、地域とのつながりが希薄になっています。

◆管理されていない空き家や畑が増えており、地域の環境が心配されています。また、道や田んぼへのごみのポイ捨ても見られます。

課題を解決するための実施目標

全員集合！鷲巻地区
～笑顔の和をひろげよう～

目指す姿①
声を掛け合い、みんなで支え合う

＜目標・取り組み＞

- 地域のつながりを活かし、日頃の見守りや声掛けを大切にし、災害時にも支え合える地域をつくります。
- 昔からのつながりを大切にしながら、新しく地域に住む人ともつながりを持てるよう、あいさつや声掛けをきっかけに、支え合える関係を広げます。
- 地域でこれまで取り組んできた防災活動を活かし、子どもから高齢者まで、地域全体で防災力を高めます。

目指す姿②
誰でも気軽に参加でき交流を深める

＜目標・取り組み＞

- 桜灯ろう祭りや大鷲夜まつり、どんど焼きなど、他地区からも参加でき、子どもから高齢者まで多世代が交流できる機会を大切にし、地域のつながりを広げていきます。
- コミュニティカフェわしまきや、保育園児との芋ほり・花植え、大鷲シニアクラブとの交流など、世代や地区を越えて交流できる機会を大切にし、これからも継続していきます。
- 桜遊歩道公園、観光果樹園、果樹直売所など、地域の観光資源を活かし、地域の魅力を伝えることで、地域の人だけでなく他地区の人も参加・交流できる活動を検討します。



桜灯ろう祭り



保育園児と芋ほり



寄せ植え教室

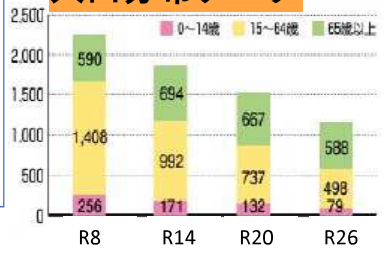
根岸地区

地区特性・概要（基本情報）

南区の北部に位置し、中ノ口川と接する形で、川の東側に広がる地域です。昭和40年代に宅地造成され、団地化された地域と純農村地域で構成された地区で、稲作や果樹、花卉の栽培がとても盛んです。



人口分布データ



前期計画期間の振り返り

- 地域行事を通して若い世代の参加が増え、困った時に助け合い、子どもを育む環境づくりにつながっています。
- 自治会ごとの集いの場（お茶の間）の開催、定着を図り、住民同士の交流や支え合いを維持・発展させていくことが重要です。
- 認知症の高齢者など、自治会によっては顔見知りの関係があり、見守りもできています。

現状と課題

この地区のいいところ

- 顔見知りの関係づくりができています。
- 新しい方が定住し、子どもの人口減が少ないです。
- 子ども、小学校を通じた地域活動（祭り、教育、防災など）が行われています。
- 茶の間、集いの場を構築することが地域関係者の会議内でも共有されています。

この地区の課題

- 自治会の役割が理解されていないため、負担感や担い手の不足が生じてしまっています。
- 成人（男性・女性）向けの集い、サークル活動が少ないです。
- 地域活動の横のつながりや世代間の引き継ぎが心配です。
- 交通が不便、道も狭いです。

課題を解決するための目指す姿と目標（実施目標）

楽しく暮らせる住みよい根岸

目指す姿①　支え合いでつくる安心･安全な地域

＜目標・取り組み＞

- 地域づくりへの理解、参画を進めるため、センターが活動拠点となり、事業の振り返り、見直しを行います。
- つながりづくりを深めるために、子育てを通じた事業に多くの世代が参加し、関わりの輪を広げていきます。
- 高齢者が地域で元気に過ごすために、集いの場の継続・拡充を図り、移動支援を含めた生活支援体制の検討を図ります。
- 住民同士が顔見知りになるために、世代別に交流する機会の検討及び構築を図ります。

目指す姿②　世代をつなぎ､未来へつながる地域

＜目標・取り組み＞

- 地域づくり、担い手の育成につなげるために、教育を通じ福祉、地域を学ぶ機会を設けます。
- 担い手の育成を図るために、活動（清掃ボランティア、クッキングなど）・事業（祭り、敬老会、防災、どんと焼きなど）を通じ、世代間交流を続けます。
- 地域活動の理解と参加を進めるために、より良い広報・情報発信を充実させます。



清掃ボランティアの様子



あやめまつりの様子

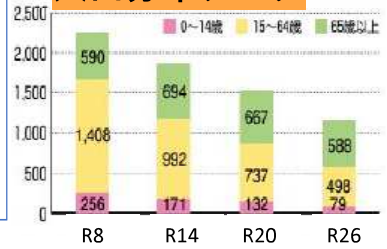
大通地区

地区特性・概要（基本情報）

南区の北側に位置し、中之口川に架かる大野大橋を境にして西区と隣接し、約6,000人が暮らす大規模住宅地です。大通コミュニティ協議会が地域活動の拠点となり、防災強化に努めています。



人口分布データ



前期計画期間の振り返り

- 自治会長や民生委員など情報交換を行い、安心・安全会議を活用し、地域課題に応じた学びや情報共有を推進しています。
- 地域住民の活動、交流、外出の機会が確保され、フレイル予防や多世代交流にもつながっています。
- 地域住民へ地域活動の理解や相談先の周知など情報を発信し伝えていくことが必要です。

現状と課題

この地区のいいところ

- 地域の茶の間、子ども食堂など、居場所がいろいろあり、地域活動が盛んです。
- 多世代、多業種の方々が集まり、ボランティア精神あふれる人も多いです。
- 一人暮らしの方々への声かけも行い、行事への参加や生活支援について対応しています。

この地区の課題

- 世帯の孤立化（高齢者の一人暮らし、高齢世帯、核家族化など）からつながりにくくなってきています。
- 空き家が増える自治会もあります。
- 地域と医療・福祉の事業所とのネットワークづくりが必要です。

課題を解決するための目指す姿と目標（実施目標）

今つなげよう！
大通に安心と思いやりのネットワークを!!

目指す姿①　支え合いの輪を広げる

＜目標・取り組み＞

- 様々な人が関わり合える地域づくりに向け、子ども、障がい者、高齢者など、隔たりなく交流する機会をつくります。
- 現在の生活支援活動を継続・充実させるとともに、担い手の育成につなげるため、誰もが一緒に関わり、継続した地域づくりを進めます。
- 地域における協力体制を構築するために、地域住民だけでなく、専門職や社会資源の活用を進めます。
- 仕組みづくりを継続していくために、防災活動を通じて個人の強みや地域の力を再確認し、自治会単位での取り組みを充実することで、地域全体の支え合いの力を高めます。

目指す姿②　地域を知り、つながりを深める

＜目標・取り組み＞

- 地域での取り組みについて理解・周知を図るため、子育てや健康などコミュニティ協議会の事業や活動の情報を発信し、地域活動への理解や関心を高め、地域づくりを支える人や活動の広がりにつなげます。
- 現状における地域の課題や住民の思いを把握し、地域への理解や参加につなげるため、地域で取り組みたいことについて意見を出し合い、学び合う機会をつくります。



はじめまして赤ちゃん事業の様子



ふれあい昼食会事業の様子

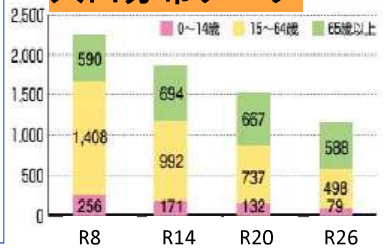
白根地区

地区特性・概要（基本情報）

南区の中心市街地です。南区役所を中心として、商店街や住宅地が広がっています。白根児童センターや白根健康福祉センターなどの施設があり、幅広く活用されています。
毎年6月に開催される「白根大凧合戦」では、地元の商店街と各凧組が中心となって一大イベントを盛り上げています。



人口分布データ



前期計画期間の振り返り

- 自治会町内会の防災組織率が伸びませんでした。組織化に至らなくても、役割分担を2年ごとに行うなど取り組むことで、自治会内の交流や防災意識の増加につながるのではないかと考えられます。
- 住民による助け合い活動として「白根お互いさま支援隊」を開始しました。除草やゴミ出し、買い物支援を行っています。
- 白根児童センターとは事業等を通じて関わりをもてています。

現状と課題

この地区のいいところ

- 道路整備（市道・県道・国道）がされており、以前は混雑していましたが、整備後は静かになりました。歩道も整備され、様々な世代の人が朝晩と歩いており、健康づくりや交流の機会となっています。
- イオンや原信などの商店があり、買い物しやすいです。
- こども食堂が開催されたり、町内で助け合い活動が行われています。

この地区の課題

- 自治会役員をやりたがりません。自治会長も1年交代の地区が増え、会長が変わる度に流れが変わり、行事が上手くいかない、進まないことがあります。
- バスの路線は旧国道がメインのため、中央区以外の地域に行くための交通手段が限られています。
- 高齢化に伴い、歩いて買い物に行くことが困難になる人が増えることが予想されます。
- 南区の中心市街地のため、様々な世代、世帯状況の人が生活しており、多種多様な課題があります。

課題を解決するための実施目標

広げよう地域の輪　凧の舞うまち　しろね

目指す姿①　特色を活かした地域の活性化と担い手育成

＜目標・取り組み＞

- 「白根大凧合戦」や農業といった地域の特性を活かした事業の開催、PRをすることで地域を盛り上げ、次世代の担い手を育成します。
- 白根地区に限らず、他の地区や団体、行政等各機関と連携・協力することで、伝統行事や農業などの担い手不足の解消につなげます。

目指す姿②　交流事業をとおし、地域のつながりを強める

＜目標・取り組み＞

- 防災事業をはじめとした、自治会・町内会の事業に様々な人が参加できるよう検討し、顔のみえる関係づくりにつなげ、自治会・町内会の関係強化を図ります。
- 子ども、障がい者、高齢者など多世代交流の機会をつくります。住民同士がつながるきっかけとなり、孤立感の解消や地域内での支え合う意識の向上を図ります。

目指す姿③　住民が主体となって、お互いに支え合う地区

＜目標・取り組み＞

- 住民主体の支援活動「白根お互いさま支援隊」を継続します。周知方法やボランティア募集、支援体制等を検討します。
- 買い物等のための移動支援について検討します。



白根お互いさま支援隊
除草作業



白根お互いさま支援隊
除雪作業

味方地区



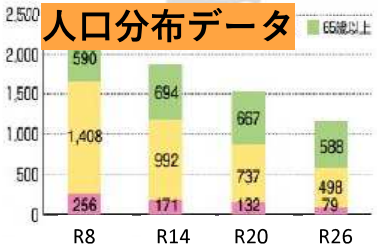
地区特性・概要（基本情報）

南区の西側に位置し、平地で豊かな自然に恵まれた田園地帯であり、中ノ口川の水の恵みをいただき、水稲・野菜などの生産が盛んです。

また、毎年6月に一大イベントの「白根大凧合戦」が開催され、県内外から多くの観客が来訪し、地域がにぎわいます。

味方出張所内にコミュニティ協議会の事務所を設置し、活動の拠点としています。

人口分布データ



前期計画期間の振り返り

- みんなのみかた応援隊の情報発信により、支援の依頼や活動が活発になっています。一方、ボランティア確保に課題があります。
- 民生委員を中心とした見守りも行われていますが、身近な活動について自治会との共有が上手く出来ていないこともあり、旧大字単位で共有していけるよう声かけをしていきます。
- 子どもを含めた地域活動は継続しており、世代交流を含めた活動で伝承芸能の活性化ができるよう取り組んでいきます。

現状と課題

この地区のいいところ

- 大凧合戦や納涼祭、各地域のお祭りによって賑わいがあります。
- みんなのみかた応援隊や地域住民主体の会、年２回開催のクリーン作戦で世代を超えた助け合いや、交流がみられます。
- 小中学校合同の防災訓練で地域全体の防災意識を高め、近所同士や民生委員を中心とした見守り活動で、孤立のないように活動しています。

この地区の課題

- 様々な活動がありますが、新たなメンバーの開拓、担い手の育成や引継ぎが必要となっています。
- 高齢化が進んでおり、住み慣れた地域で楽しく安心して暮らせる地域づくりや、移動手段の検討、健康面への意識付けが必要です。
- 感染症を機に、福祉事業所との関わりが減りました。様々な人が地域で共に暮らしていることを知り、関心につながる機会が持てるよう、小さなころからの意識づけができるとよいです。

課題を解決するための実施目標

いきいき　ふれあい　ささえあい　味方地区

目指す姿①　共生社会の中で支え合いながら暮らせる地域

【目標・取り組み】

●多様化する地域住民の変化を見逃がさぬよう、民生委員による見守り活動や、みんなのみかた応援隊、地域の茶の間や福祉事業所など社会資源を活用し、孤立の軽減を図ります。

●各組織や行政へ活動の周知や共有ができるよう、会議や連絡会などの場で伝えていきます。広報誌やコミ協カレンダーを用いて地域住民へ情報発信していきます。

●隣近所や地域間のつながりづくり、共助による防災意識の向上ができるよう、小中学校を含めた合同防災訓練の継続を行っていきます。

目指す姿②　地域活動をとおして次世代へつなげる

【目標・取り組み】

●次世代への担い手の確保や育成につなげるため、様々な地域イベントを多世代で楽しめ、世代を超えた交流を図ります。また、各地域の神楽舞や味方音頭などの伝承芸能の継続や、地域クラブなどの活動の活性化も図っていきます。



敬老会で伝承芸能披露の様子



みんなのみかた応援隊での移動支援

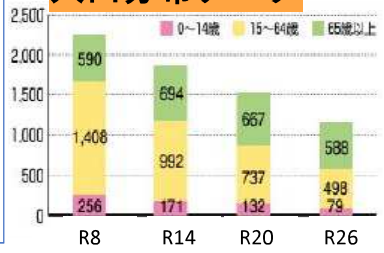
月潟地区

地区特性・概要（基本情報）

中ノ口川の西側に位置し、稲作や梨・桃などの果樹栽培が盛んな地域です。また、月潟地区に伝わる伝統芸能角兵衛獅子は新潟市無形民俗文化財に指定されています。今は廃線となってしまいましたが、新潟交通の電鉄（かぼちゃ電車）は、保存会により駅舎や車両が当時のまま残されています。また、切れ味のよい手打ち鎌の生産地として歴史があります。6月には月潟まつり、9月には大道芸フェスティバルが開催され、多くの観光客が訪れてにぎわう地域です。



人口分布データ



前期計画期間の振り返り

◆移動茶の間「ふれあい茶ろん」を高齢者施設で開催し、地域住民や施設利用者、ボランティアグループなど、地域のさまざまな人や社会資源を活用しながら交流を広げることができました。

◆民生委員の担当する自治会ごとに、自治会長と民生委員が情報を共有し、地域の状況や気になる方について話し合う機会をつくることができました。

◆支え合いのしくみづくりでは、「つきがた便利帳」を作成し、高齢者が困ったときに活用できる情報をまとめ、民生委員の見守り活動と併せて配布することで、必要な情報を届ける取り組みにつなげました。

現状と課題

この地区のいいところ

◆大道芸フェスティバルや伝統芸能角兵衛獅子、かぼちゃ電車など、地域ならではの行事や文化があり、住民が大切に守り継続している。

◆昔からのつながりがあり、地域の茶の間や配食ボランティア、趣味の会など住民同士が支え合い、交流する活動が盛んです。

◆図書館やお風呂など公共施設もあり、移動スーパー「とくし丸」など暮らしを支える仕組みがあります。

この地区の課題

◆昔からのつながりがある一方で、集合住宅などでは近所の人の顔が分からないこともあり、地域の人同士が知り合う機会をつくることが必要です。

◆スーパーやコンビニが近くに無いなど、買物や通院など移動手段の確保が課題です。

◆人口減少に伴い、地域の行事や伝統を引き継ぐ担い手は減少しています。これらを続けていくためには、日頃からの緩やかなつながりを活かし、若い世代をはじめ、より多くの人が地域に関わるきっかけをつくることが必要です。

課題を解決するための実施目標

あいさつ　声かけ　思いやり
つながりふっとつ　獅子の里

目指す姿①

安心して暮らせる地域

＜目標・取り組み＞

- 買物や移動などの暮らしの困りごとに対応できるよう、地域にある既存のサービスの継続を支援するとともに、必要な支援や仕組みを活用する方法を検討していきます。
- 日頃から気にかけ合い、困ったときや災害時にも支え合える関係をつくるため、自治会や民生委員などのつながりを活かした声かけや緩やかな見守りを進めます。

目指す姿②

多世代でつながり支え合う地域

＜目標・取り組み＞

- 地域のつながりを深めるため、地域の茶の間や福祉施設、学校などを活用した交流の場や機会をつくります。
- 住民が地域に関心を持ち、活動に参加するきっかけを増やすため、行事やボランティア、趣味の会などの情報発信をします。

目指す姿③

つながりを活かした地域の伝承

＜目標・取り組み＞

- 地域の魅力や伝統を次世代につなぎ、地域に関わる人を増やしていくため、角兵衛獅子やかぼちゃ電車、お祭りなどを活かしたイベントや情報発信をして、継承活動を進めます。



かぼちゃ電車



月潟角兵衛獅子の舞



お祭りでのコミ協物産販売の様子